

2023 年度 外国人留学生入試 日本語 【全学部】

受 験 番 号								氏 名	志 望 学 科
									学科

◎ 問題Ⅰ，Ⅱ の答えはすべて解答用紙（別紙）に書くこと

問題Ⅰ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(55 点)

日々なすべき仕事で時間に追われ、誰もが忙しいのは承知している。本を読むどころではないという声が（１）（聞こえます… ） そうだ。しかしそれでも、読書をする習慣は持ち続けて欲しいと思う。朝起きて顔を洗ったり、食事をしたりするのと同じように生活の中に取り入れることだ。特別なことではない。

たとえば一時間①（a. ひっそり b. じっくり）本を読むという贅^{ぜい}沢^{たく}な時間は、私にはない。食事を終えて少し読み、寝る前に少し読みという、こま切れの読書をずっと（ア）重ねている。並行して 5 冊前後を手元に置き、熟読というよりはポイントを読んでいくという②（a. シリーズ b. スタイル）だ。そして、大切なところ 1～2 行は必ずメモを取る。それらを必要に（イ）オウじて、たとえば講演の前などに読み返している。もちろん、頭の引き出しには、本から得たさまざまな知識が入ってはいるが、その内部記憶が心もとないこともあるので、本や資料のような外部記憶が頼りになる。外部記憶はある意味、あなたの頭の中にしまわれている情報のインデックスとして大切な役割を果たすだろう。

なぜ、自分はこの本を読みたいと思ったのか。なぜ、文章のメモを残そうとしたのか。その時の視点に立ち返ることができるし、考えを整理することもできる。（あ）自分自身を磁石^{じしゃく}として集まってくる内容は、必ずあなたを形作る一端を担っているはずだし、それが仕事に関係していようが、趣味についてであろうが、大切なものだ。

A、今の私には、書店を覗^{のぞ}く時間もほとんどない。もし、運良く 10 分でも 20 分でも時間が空いたら、書店に足を（ウ）ハコぶが、それは本当に③（a. まし b. まれ）なことである。だから、私は新聞広告と書評を見て本を注文する。また、みなさんからいただく本も含め、読みたい本・読まなければならぬ本は常に山積みの状態である。

B、読書を絶対視するわけではない。読書以外の方法で社会をとらえていくこともできないことはないと思っている。非常に古い日本の企業人の間では「ビジネスはゴルフ場です」という暗黙のルールがあった。ゴルフに関心がない私は、そういうものかと

思いはしたが、(イ) ゴルフ場で企業人同士でプレーすることで、多くの知や、深いものの見方を発見できるとも思えなかった。今考えてみるとそれは、「ゴルフ場でビジネスチャンスをつかむ」ことではないだろうか。

二千年もの時を経た古典をはじめ、多くの先人の知恵によって、人間とは何かという本質を知り、仕事や経営に活かしたいと思っていた私には、同時代の企業人と数時間を過ごすことより、本から教えられたことのほうがさらに有意義に思えた。本の中では、一生会うこともできない偉人の考えに触れることができ、場合によっては未来を見つめてみることもできるからだ。

エリザベス女王が突然本を読むことに夢中になるという仮定の英国風のジョークが本になって出た。作者のベネットは作中のエリザベス女王にこう (2) (言います…) せるのだ。

——「(エ) 暇つぶし？」女王は聞き返した。「本は暇つぶしなんかじゃないわ。別の人生、別の世界を知るためのものよ。」—— (アラン・ベネット著 市川恵理訳『やんごとなき読者』白水社)

企業人には食わず嫌いをなるべくしないで読書することをすすめたい。業務に関係のあるビジネス書を読むことで精いっぱい、と決めてかからないことだ。私は、仕事で行き詰まり、どうしても結論を出せなくなって考えあぐねていた時に、ふと趣味の世界の考え方を当てはめてみたら、霧が晴れるように答えを見出せたりしたことがあった。 C 一度や二度ではなかったのである。

不思議な気もするが、物事を (3) (突き詰めます…) うとしていくと、たとえ④ (a. ジャンル b. チャンネル) は違っても同じ本質に行きつくということなのかもしれない。さまざまな入り口から考えていける、その力は予想以上に大きいものだと思う。本の食わず嫌いを (4) (します…) な、といたいのは若い企業人に対してだけではない。年齢を重ねるにつれて、人は、自分が好むもの、共感するもの、理解できるものへと偏っていくものだ。あたらしい考え方が次第に入らなくなっていくと、判断も仕事の内容も柔軟さに欠けてくることは間違いない。

(う) それを救ってくれるのが、あたらしい刺激をくれる本であると思う。

(福原義春『だから人は本を読む』一部改変)

問1 (ア) ~ (エ) のカタカナを漢字に、漢字をカタカナに直しなさい。

(ア) 重 (イ) オウ (ウ) ハコ (エ) 暇

問2 A、B、Cに入る最も適切な言葉を次の a,b,c,d,e の中から選んで記号で書きなさい。

a.もちろん b.そこで c.それも d.また e.したがって

問3 (1)～(4)の中の言葉を適切な形に変えなさい。

問4 ①～④に入る最も適切な言葉を、a,b から選んで記号で書きなさい。

問5 (あ)「自分自身を磁石^{じしやく}として集まってくる内容」とあるが、具体的には何を指しているか、本文中の言葉を用いて 15 字以内で書きなさい。

問6 (い)「ゴルフ場で企業人同士でプレーすることで、多くの知や、深いものの見方を発見できるとも思えなかった。」とあるが、筆者はなぜそのように考えていたのか、本文中の言葉を用いて 50 字以内で書きなさい (句読点を含む)。

問7 (う)「それ」が指す内容を本文中の言葉を用いて 40 字以内で書きなさい (句読点を含む)。

問題Ⅱ 次の文を読んで、後の問いに答えなさい。(45 点)

問1 次の文の _____ にはどのような言葉を入れたらよいか。a, b, c, d の中から最も適切なものを一つ選んで記号を書きなさい。

(1) 一度はその大学を受験しようと決め _____、結局は願書を出さなかった。

a. ただけあって b. たとしても c. たものの d. たことから

(2) これ以上、給料が上がらなければ、この会社をやめる _____。

a. まい b. までのことだ c. ものでもない d. ほどではない

(3) 受付に、私のかばんを _____ いいですか。

a. お置きになっても b. お置きくださっても
c. 置かせてくださっても d. 置かせていただいても

- (4) 仕事を自分一人で完全にやろうと思う____、体をこわしてしまうことがある。
a. あまりに b. かわりに c. につけ d. にしろ
- (5) 新しいコーチに対する彼女の態度は、コーチとして認めないと____。
a. 言わなくてもよい b. 言わんばかりだ
c. 言うわけにはいかない d. 言いようがない

問2 次の文の____にはどのような文を入れたらよいか。文を完成させなさい。

- (1) スマートフォンは 便利な反面、_____。
- (2) やると決めたからには、_____。
- (3) _____ にともない_____。
- (4) 留学生とはいえ、_____。

問3 次の言葉の使い方として最もよいものを、a,b,c の中から一つ選んで記号を書きなさい。

- (1) かんじん
a. みんな集まったが、かんじんな人がまだ来ていない。
b. 彼はいつも人に親切なので、私はかんじんな気持ちになった。
c. 田中さんにはお世話になったので、かんじんなことをおくれた。
- (2) てっきり
a. あの日に起こったことは、今でもてっきり覚えている。
b. 彼は笑っていたのでてっきり試験に合格したと思った。
c. 母はてっきり私たちがいないことを確かめた。
- (3) にぎわう
a. ひさしぶりのお祭りのため、多くの人でにぎわっていた。
b. 仕事をがんばった社員をにぎわうために、課長は食事をごちそうした。
c. 外では雷がにぎわい、大雨が降っていた。

(4) ごまをする

- a. 課長にごまをするかどうか確かめてから仕事を始めた。
- b. 途中でごまをすらないように、何度も書類を見直した。
- c. 彼は、上司にごまをするのが上手なので、すぐに出世した。

(5) データ

- a. 短い文を送るときは E メールよりデータの方が簡単で便利だ。
- b. まちがえて大切なデータを消してしまった。
- c. 何度も印刷するのはデータのむだになる。